

## (総則)

設問別の採点基準に加点法で採点する指示があっても、**必ず減点法で採点**してください。「～と訳せていれば」という内容を含んでいれば、〇点加点」は「～の誤訳欠如は〇点減点」と解した上で、**減点スタンプを用いて採点**してください。

採点基準に記載のないミス等については、共通採点基準に従って減点してください。

### <単答問題に関して>

- 1) 単答問題は、採点記号(ハや波線、得点スタンプなど)を一切付さず、キーボードのみで「○」「△」「×」「無答」、あるいは点数を入力することで採点する。
- 2) 番号・記号を答える問題であっても、別解の有無は必ず採点基準を見て確認すること。採点基準に記載のない場合は別解なし。
- 3) 番号・記号の表記は、カッコなどの形状は問わず、1, ①, (1)などすべて同じと見なす。
- 4) 1つの解答欄に対して、カッコ書きなどで答えを2つ書いている場合、片方が正解でも「不正解」として処理する。

### <記述問題に関して>

解答例は、あくまで一例です。記述問題では様々な解答が考えられるので、解答例の表現に合致するかではなく、問いの内容をよく理解して、同等のことを表しているかを適宜判断して採点してください。

添削ではなく採点です。減点理由以外のコメントや、アドバイス、修正案は、指示がない限り記入しないでください。

- 1) 記述問題は**減点法**で採点。(誤っている箇所には波線、不足箇所にはVまたは^印を記入、減点数を付記する。△×の場合、必ず採点記号と減点スタンプを一つ以上使用する。)

どこで何点減点されたのか受験生にわかるように採点する。方向性の違いなどで0点になる答案でも、^を1つと減点スタンプを使用して処理する。×記号のみでの採点は行わない。

### ●採点答案イメージ(減点箇所と減点数を赤で明示してください)

親は心配していたけれども子供の方は堂々としており、<sup>-2</sup>数の面でより大きく思わせた。<sup>-1</sup>

※減点箇所…波線 指摘のみ…下線 不足箇所…V ^

減点はしないがあまり適切でない箇所には適宜下線を付す。

- 2) 記述問題の採点は問われているポイントを答えているかどうかで判断することを原則とし、表現の稚拙や些細なミス(例えば、句点やピリオドの欠落、iの点やtの棒の脱落など)は許容する。(稚拙な答案が減点されず、よく書けている答案が大幅に減点される場合もあるが、主観的な採点をしない)
- 3) 日本語の誤字脱字、ひらがな書き、句読点の誤りは、著しく意味を損なわない限り減点しない。
- 4) 数字について、注記が無い限り、英語で解答する問題については「算用数字」、「アルファベット表記」いずれも許容する。日本語で解答する問題については「算用数字」、「漢数字」いずれも許容する。
- 5) カッコ書きなどで答えを2つ書いている場合、片方が正解でも誤りは減点する。

- 6) 日本語, 英語ともに, 答案上に書かれている内容のみを採点する(採点者が解答内容を拡大解釈する必要はない)。ただし, 同等のことを表していると認められる解答は, 解答例の表現にこだわらず積極的に得点を与える。
- 7) スキャンの掠れや筆圧の弱さにより筆跡が読み取れない場合は、正答が書いてあると見做し、採点を進める。
- 8) 筆跡は明確な(スキャン不具合等がない)場合でも、悪筆により判読が難しく、誤りかどうか判断に迷う場合、その都度該当箇所が含まれる採点項目分を、誤字脱字として減点する。
- 9) コメントは、設問ごとの採点基準に指示がある場合を除き、基本的に付さない。字数超過や論旨不適など、大幅な減点となる項目では一言コメント(例:「語数不足」・「語数過多」・「論旨不適」・「内容不適」など)を加える。文言については採点基準を参照し、その指示に従うこと。
- 10) 無答設問に対しては、キーボード操作(スペースキーを押す)で無答として採点する。

2023/02/14 版

## 英語 共通採点基準

### 採点基準(共通)

[全体]

- \* 客観式問題で答えの重複が許されていない、もしくは構造上あり得ないにもかかわらず、**同じ答えを複数回書いている場合**、**その小問には得点を与えない**。
- \* **トピック番号を書く指示のある問題において、トピック番号を書いていない解答**は、減点を行わないが、採点において注意する。
- \* **解答の字数・語数を記すよう指示のある問題において、それを記していない解答**は、減点を行わないが、採点において注意する。
- \* 各小問の得点が **0 点** の時はそれ以上の減点を行わない。
- \* 一部の採点項目については、以下の方式にしたがい、設問の配点に応じて、減点幅を定める。

減点方式 A:「文法・語法」(英作文、英語説明問題)、「誤訳・訳し漏れ」(和訳・日本語説明問題)

減点方式 B:「表記法・スペルミス」「『～語程度』問題での語数過不足」(英作文、英語説明問題)、「誤字・脱字」「『～字程度』問題での語数過不足」(和訳・日本語説明問題)

配点が 1～25 点の設問では、**減点方式 A が 1 箇所につき 1 点減点、B が 1 点減点**。

26～50 点の設問では、**A が 2 点減点、B が 1 点減点**。

51～75 点の設問では、**A が 3 点減点、B が 2 点減点**。

76～100 点の設問では、**A が 4 点減点、B が 3 点減点**。

以下 25 点毎に減点幅を、A・B とともに 1 点ずつ追加。

※和文英訳等の問題においても、必要に応じて「誤訳・訳し忘れ」として減点する。

[字数・語数制限について]

- \* 「**○字(語)～×字(語)で**」という指定を守っていない解答は **0 点** とする。
- \* 「**○字(語)以内**」という指定がある設問で「**○字(語)**」を超えた場合の処理は、**採点自体は 0 点** とする。
- \* 「**○字(語)程度**」という指定がある問題での**超過／不足**は、「**○字(語)**」に対して 1 割増減は問題なしとする。1 割よりも増減するものについては、**1 字(語)超過／不足ごとに減点方式 B にしたがって減点**。
- \* **最後のマス目に「と。」などと文字と句読点を記入した場合**は、**超過として扱う**こととする。
- \* **説明問題での字(語)数不足**については、不足するようであれば必然的に必須要素が欠落すると考え、**字(語)数不足自体についての減点**は行わない。

※行数に制限がある場合、超過分は1字(語)ごとに減点方式Bにしたがい減点する。不足分は目測で不足字(語)数を推定し、同様に減点する。

〔和訳〕

- \* 語単位での誤訳・訳し漏れは1箇所につき減点方式 A にしたがって減点。ただし同一ミスは初回のみ減点する。
- \* 誤字・脱字は1箇所につき減点方式 B にしたがって減点。ただし同一ミスは初回のみ減点する。
- \* 主語述語関係などの乱れなど、著しく不自然な日本語は1箇所につき1点減点。

〔英作文〕

- \* 文法・語法ミス(冠詞のミスを含む)は1箇所につき減点方式 A にしたがって減点。ただし同一ミスは初回のみ減点する。
- \* 表記法・スペリングのミスは1箇所につき減点方式 B にしたがって減点。ただし同一ミスは初回のみ減点する。
- \* 冗長な箇所、過度に稚拙な表現はその長さや程度に応じて減点とする。
- \* 自由英作文における論旨の明らかな矛盾または著しく事実に反する記述は1箇所につき満点の3割以内で減点。ただし内容面については合計で満点の6割を超える減点を行わない。

〔説明問題〕

- \* 誤字・脱字は1箇所につき減点方式 B にしたがって減点。ただし同一ミスは初回のみ減点する。

# 2023年 第1回神戸大本番レベル模試 英語

## 解答・採点基準

全4問 80分 125点満点

### I (25点)

#### 解答

---

問1 (い)

問2

(1) derived (2) contributed

問3

(1) False (2) True

問4

新たな延命治療や身体と認知の能力を強化する治療が高価なものと判明すれば、豊かな人々と貧しい人々の間に大きな生物学的格差が生まれるかもしれない。

## 採点基準

---

問1 3点

問2 各3点 計6点

問3 各3点 計6点

問4 10点満点

If new treatments for extending life and for upgrading physical and cognitive abilities prove to be expensive, a huge biological gap might open between the rich and the poor.

「新たな延命治療や身体と認知の能力を強化する治療が高価なものと判明すれば、豊かな人々と貧しい人々の間に大きな生物的格差が生まれるかもしれない。」

1. If [~] prove to be expensive を「~が高価なものと判明すれば」のように適切に訳せていれば 3点加点。
  - prove to be を「~と判明する」「~とわかる」のように適切に訳せていない場合 2点減点。
2. new treatments for extending life and for upgrading physical and cognitive abilities の部分を「新たな延命治療や身体と認知の能力を強化する治療」のように適切に訳せていれば 4点加点。
  - for extending life と for upgrading physical and cognitive abilities が, and によって並列の関係にあることを理解できていない場合 2点減点。
3. a huge biological gap might open between the rich and the poor という部分が、「豊かな人々と貧しい人々の間に大きな生物的格差が生まれるかもしれない」のように適切に訳されていれば 3点加点。
  - the rich and the poor の部分で the+形容詞が「~の人々」という意味になることが理解できていない場合 2点減点。
  - might 「かもしれない」を推量の助動詞として訳出できていない場合 1点減点。

## Ⅱ(35点)

### 解答

---

問1 焦点を近くに合わせたり距離の違いで切り替えたりするのが困難な状態。

(33字)

問2 スマートフォン[スマホ]を手にする若者が増え、その使用時間が伸びるにつれ、老視を初めとしてドライアイ、疲れ目、仮性近視[一時的な近眼]といった目のトラブルが増加しそうである。

問3

(A) (エ)      (B) (カ)      (C) (ア)      (D) (オ)

問4 (イ), (エ)

## 採点基準

### 問1 7点満点

「焦点を近くに合わせたり距離の違いで切り替えたりするのが困難な状態。」

\*第2段落第1文目 such symptoms as difficulty focusing on nearby objects and switching focus on objects at different distances を全く参照できていない場合、この問題では**加点なし**。

1. focusing on nearby objects の部分が「**焦点を近くに合わせたり**」のように適切に反映されていれば **3点加点**。
  - 形容詞の nearby を「**近くに**」などと解答例のように副詞的に説明へ組み込んでいる場合も許容するが、全く説明に反映されていない場合は **1点減点**。
2. switching focus on objects at different distances の部分が「**(焦点を)距離の違いで切り替えたりする**」のように適切に反映されていれば **3点加点**。
  - at different distances の部分が「**距離によって**」のように意識されて説明へ組み込まれている場合も許容する。at different distances を objects にかかる形容詞的役割とみなして「**様々な距離のものに焦点を合わせる**」という解釈も可。ただし、全く説明に反映されていない場合は **1点減点**。
3. such symptoms as difficulty という部分が、続く focusing on nearby objects と switching focus on objects at different distances の両方から修飾されていることを理解し「**～のが困難な状態**」のように説明へ適切に反映されていれば **1点加点**。

### 問2 10点満点

As more young people acquire smartphones, and use them for longer periods, such symptoms are likely to increase.

「スマートフォン[スマホ]を手にする若者が増え、その使用時間が伸びるにつれ、老視を初めとしてドライアイ、疲れ目、仮性近視[一時的な近眼]といった目のトラブルが増加しそうである。」

1. As more young people acquire smartphones の部分が「**スマートフォン[スマホ]を手にする若者が増え、～するにつれ**」のように適切に訳されていれば **2点加点**。
  - As が比例を表す接続詞として「**～するにつれ**」のように訳されていない場合は、この部分での **加点なし**。
  - more young people acquire smartphones の訳は「**より多くの若者がスマートフォン[スマホ]を手に入れ**」なども許容範囲とする。
2. and use them for longer periods の部分が「**その使用時間が伸びる**」のように適切に訳されていれば **2点加点**。



- 主語が more young people であり, and によって動詞が並列されていることが理解できていない場合, この部分での**加点なし**。
  - use them for longer periods の訳は「より長い時間使う」なども許容範囲とする。
3. such symptoms という部分が, 第 4 段落第 1~3 文目を参照して「老視を初めとしてドライアイ, 疲れ目, 仮性近視[一時的な近眼]といった目のトラブルが」のように適切に訳されていれば **4 点加点**。
- 第 4 段落第 1~3 文目を全く参照していない場合は, 設問の条件に合わないためこの部分での**加点なし**。
  - such symptoms の内容に関して第 4 段落第 1~3 文目から「老視を初めとしてドライアイ, 疲れ目, 仮性近視[一時的な近眼]」のように老視・ドライアイ・疲れ目・仮性近視[一時的な近眼]の 4 種類を明示し適切に説明へ反映することを求める。老視・ドライアイ・疲れ目・仮性近視[一時的な近眼]の訳に関しては好意的に解釈するが, 4 つの症状に関して反映されていないものがあれば, 1 つにつき **1 点減点**。
  - symptoms に関しては「症状」なども許容範囲とする。
4. are likely to increase の部分が, 「増加しそうである」のように適切に訳されていれば **2 点加点**。
- are likely to 「~しそうである」が全く反映されていない場合はこの部分での**加点なし**。

問 3 各 3 点 計 12 点

問 4 各 3 点 計 6 点

### Ⅲ(35点)

#### 解答

問1 「手伝って」という言葉は何の意味もなく使っているが、本当に意味はないのだろうかという疑問。

(45字)

問2

「今」:彼は病気になり他の人々の重荷になっている。

(21字)

「昔」:彼の肉体的な力強さで他人に奉仕していた。

(20字)

問3 「私たちはこんなに貧乏だから、どうしたら彼は私たちを信じてくれるでしょうか?」と悲観的に妻は言った。

問4

(A) (あ)      (B) (え)      (C) (う)      (D) (い)

問5 (い), (え)

## 採点基準

### 問1 7点満点

「『手伝って』という言葉は何の意味もなく使っているが、本当に意味はないのだろうかという疑念。」

\*第2段落第1文目の whether these words, which people had long heard and spoken, really did have no meaning を全く参照できていない場合、この問題では**加点なし**。

- these words, which people had long heard and spoken の部分が「『手伝って』という言葉は～使っているが」のように適切に説明へ反映されていれば**3点加点**。
  - these words の説明には「『手伝って』という言葉」のように第1段落第1・2文目のやりとりを踏まえたものだけでなく、「いいよ」の部分を含めたもの、あるいは単に「これらの言葉」のように反映したものも許容する。
  - which people had long heard and spoken に関しては、単に「何の意味もなく使っているが」とするような意識を認めるが、この部分を全く説明へ反映できていない場合は**1点減点**。
- really did have no meaning の部分が「**本当に意味はない**」のように説明へ適切に反映されていれば**2点加点**。
- whether の部分を「～かどうか」の意味で適切に説明へ反映できていれば**1点加点**。
- 下線部(1)の doubts を踏まえ、文末を「～**疑念**。」のように整えられていれば**1点加点**。

### 問2 各4点 計8点

「今」：**4点満点**

he became a burden to other people

「彼は病気になり他の人々の重荷になっている。」

- he became a burden to other people の部分を「**彼は他の人々の重荷になっている**」のように説明へ反映できていれば**3点加点**。
- 1文前の illness を踏まえ、重荷になっている理由を具体的に「**病気になり**」のような表現で説明へ反映できていれば**1点加点**。

「昔」：**4点満点**

he had used it for the benefit of others

「彼の肉体的な力強さで他人に奉仕していた。」

- he had used it for the benefit of others の部分を「**他人に奉仕していた**」という内容で説明へ反映できていれば**3点加点**。

2. 1 文前の physical strength を踏まえ、他人に奉仕できていた理由を具体的に「彼の肉体的な力強さで」のような表現で説明へ反映できていれば 1 点加点。

問 3 6 点満点

“How, with us being so poor, is he going to trust us?” his wife said pessimistically. 「『私たちはこんなに貧乏だから、どうしたら彼は私たちが信じてくれるでしょうか？』と悲観的に妻は言った。」

1. “How, with us being so poor, is he going to trust us?” の部分が「『私たちはこんなに貧乏だから、どうしたら彼は私たちが信じてくれるでしょうか？』」のように適切に訳されていれば 4 点加点。
  - 挿入句の with us being so poor に関しては単に「とても貧しいので」とするような意識も広く認める。with を原因以外の理由・譲歩の意味で「私たちはこんなに貧乏だというのに」などのように用いているものも可。ただし、この部分を全く説明に反映できていない場合は 2 点減点。
2. his wife said pessimistically の部分が「～と悲観的に妻は言った。」のように適切に訳されていれば 2 点加点。

問 4 各 2 点 計 8 点

問 5 各 3 点 計 6 点

## IV(30 点)

### 解答

---

(1)

〔解答例 1〕

When I went shopping last month, I found a nice yellow T-shirt. The next day, I wore it and met my friend. Then, I realized that he wore the same clothes as me. We felt a little awkward, but it was somewhat funny at the same time.

(47 words)

〔解答例 2〕

Last week, I saw a man who resembles my brother very much in my neighborhood, so I talked to him. However, he was a completely different person who had the same hair style as my brother. It was embarrassing for me, and I left the place quickly.

(47 words)

(2)

〔解答例 1〕

I think the Internet is the most important invention of our time. It has changed the world into a small village. The Internet allows us to talk with people living on the other side of the globe. Thanks to this technology, we can get the latest news from around the world instantly.

(52 words)

〔解答例 2〕

The airplane is the most important invention humans have ever created. It can bring people from one place to another in a very short time. In particular, the invention of jet planes has enabled people [made it possible] to cross oceans and continents in hours instead of days or weeks by ship.

(49 words)

## 採点基準

---

### (1) 15点満点

〔解答例 1〕

When I went shopping last month, I found a nice yellow T-shirt. The next day, I wore it and met my friend. Then, I realized that he wore the same clothes as me. We felt a little awkward, but it was somewhat funny at the same time.

〔解答例 2〕

Last week, I saw a man who resembles my brother very much in my neighborhood, so I talked to him. However, he was a completely different person who had the same hair style as my brother. It was embarrassing for me, and I left the place quickly.

\* 内容面に関しては好意的に解釈するが、問題を正しく理解していないと考えられる解答、問題で求められていることに関連しない内容のみを述べている解答の場合、この設問は 0 点とする。

1. 些細なことでも失敗と読み取れる内容が明記されていれば 15 点加点。ただし、他人の失敗や未来に起こりうる失敗のみについて書かれたものなど「あなたがこれまでにした失敗」という問題文に合致しないものは 0 点とする。

### (2) 15点満点

〔解答例 1〕

I think the Internet is the most important invention of our time. It has changed the world into a small village. The Internet allows us to talk with people living on the other side of the globe. Thanks to this technology, we can get the latest news from around the world instantly.

〔解答例 2〕

The airplane is the most important invention humans have ever created. It can bring people from one place to another in a very short time. In particular, the invention of jet planes has enabled people [made it possible] to cross oceans and continents in hours instead of days or weeks by ship.

\* 内容に関しては好意的に解釈するが、問題を正しく理解していないと考えられる解答、問題で求められていることに関連しない内容のみを述べている解答の場合、この設問は 0 点とする。

1. 現代における最も重要な発明と考えるものについて、具体的に一つ明記されていれば 5 点加点。

2. 1で述べた考えを補強するための理由や具体例が適切な形で挙げられていれば 10 点加点。
- 1で述べた考えを支持するものとして明らかに成り立たない理由・具体例がある場合、または1の考えを裏付ける論理展開として明らかに成り立たない箇所がある場合、1 か所につき 5 点減点。